

東京外国語大学 投野由紀夫 教授

基礎英語 LEAD で

CAN-DO リストを 120%使いこなす

CAN-DO リストと基礎英語 LEAD

CAN-DO リストは「～できる」ということばを使って、何ができるかを表す能力記述文です。現在、文部科学省は全国の自治体に CAN-DO リストによる到達目標の設定を勧めています。

CAN-DO 自体は「～できる」という文章なので、それを具体的な言語活動にするためには、CAN-DO の内容に対応した英語表現のリストやサンプルの例文があると便利です。

今回は日本の英語教育のために、CEFR 準拠で構築された総合的な英語到達度指標 CEFR-J の CAN-DO リストを利用しながら、基礎英語 LEAD との効果的な連携を考えてみましょう。

「基礎英語」素材でリスニングの CAN-DO を料理する

ステップ1 まず目標になる CAN-DO を確認

《CEFR-J の「聞くこと」A2.1 の CAN-DO》

ゆっくりはつきりと放送されれば、公共の乗り物や駅や空港の短い簡潔なアナウンスを理解することができる。

《ポイント》

リスニングの CAN-DO の場合には受容技能なので、英語の表現や文法に関して絶対にこういう文法表現が出る、というふうに言いにくい部分があります。A2 レベルで公共のアナウンスはきわめて短くはつきりしたものでないと難しいでしょう。イメージがわきにくい時に、基礎英語 LEAD を使ってモデルになるスキットを探しましょう。

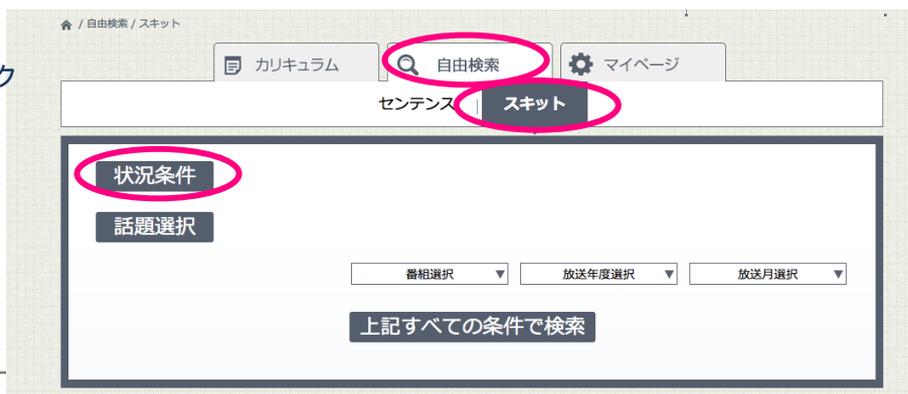


ステップ2 基礎英語 LEAD でモデル・スキットを探す

LEAD 検索のコツ

「公共の乗り物や駅や空港」は文法・機能ではなく、「状況条件」で検索！

- ① 「自由検索」→「スキット」
→「状況条件」をクリック



状況条件

場面

媒体

話者の数

話者の関係

話題選択

空港（入出国・荷物受け取り含む）

ホテル

駅

乗り物（バス/電車/飛行機）

- ② 「場面」→
「空港」「駅」
「乗り物」を選択し、
検索



- ③ 検索結果から、CAN-DO に合うスキットを選択

<2013 年度 基礎英語 2 5月放送分より>

Announcement : Attention, please.

Hideaki : Oh, listen!

Announcement : The train at track two will arrive ten minutes late.

Takuya : Oh no! That's our train!

ステップ3 基礎英語 LEAD の英文をうまく加工してタスクを作る

Task 1

実際のスキットの英文のリスニングに入る前にもう少しやさしい基本文から入ります：
以下の文を聞いて意味がわかるかチェックします。

The train will arrive five minutes late. 電車は5分遅れて到着します
The train will arrive at track ten. 電車は10番線に到着します

Task 2

実際の例文を 基礎英語 LEAD を使って聞かせます

The train at track () will arrive () minutes late.

*A2 レベルでは、全文を再生できなくても、カッコの中の情報が聞き取れればOKです。

Task バリエーション

Task2 のようなディクテーションをドリル的に行う

「~minutes late」という表現を
センテンス検索

↓
プリント作成機能を使い、
プリントを作成

The screenshot shows the LEAD system interface. At the top, there are tabs for 'センテンス' (Sentences) and 'スキット' (Scripts). A search bar contains the text 'minutes late', which is circled in red. Below the search bar are buttons for '機能条件' (Function Conditions) and '文型選択' (Sentence Type Selection). The main area displays a list of example sentences with their corresponding audio playback controls (speaker icon, play button, and '会話' button) and '例文登録' (Example Registration) button. The sentences include:

- The train at track two will arrive ten minutes late. (機能: 事実の報告 (reporting: describing and narrating) 文型: S+V)
- Sorry, but I'll be fifteen minutes late. (機能: 謝罪(offering/accepting an apology) 事実の報告 (reporting: describing and narrating) 文型: S+V(be)+形容詞)
- minutes late! (機能: 謝罪(offering/accepting an apology) 事実の報告 (reporting: describing and narrating) 文型: S+V(be)+形容詞)
- lucky because the bus came two minutes late! (機能: 謝罪(offering/accepting an apology) 事実の報告 (reporting: describing and narrating) 文型: S+V(be)+形容詞)
- a few minutes late! (機能: 謝罪(offering/accepting an apology) 事実の報告 (reporting: describing and narrating) 文型: S+V(be)+形容詞)
- on time, but the bus was 15 minutes late! (機能: 謝罪(offering/accepting an apology) 事実の報告 (reporting: describing and narrating) 前置詞句)

NAME: _____ CLASS: _____ / /

音声を聞き、下記空欄に数字を記入しましょう。

- The train at track two will arrive minutes late.
- Sorry, but I'll be fifteen late.
- Adam is minutes late!
- You're just lucky because the bus came minutes late!
- Well, I was on time, but the bus was minutes late!
- We're just minutes late.
- Brad's friend didn't pick them up on time, so they were minutes late.

ステップ4 その他のバリエーションを 基礎英語 LEAD から検索

ステップ2の検索結果から、CAN-DOに見合った、ほかのスキットも使用する。

電車の車内アナウンスの例：

Announcement： This train is bound for Narita Airport.

(2013 年度基礎英語 2, 3 月)

空港の例：

Announcement： Attention, please. Flight number fifty-two to Dallas-Fort Worth is delayed.

(2013 年度基礎英語 2, 3 月)

* これらを プリント作成機能などで、穴埋め問題にして練習します

投野先生からメッセージ

2020年のオリンピックを控えて、今、日本では新しい英語教育改革の波がやってきています。

文法や語彙を身につけたあと「ことばを使って何ができるようになるか？」という視点（これを CAN-DO といいます）を用いて言語教育のシラバス全体をデザインしたり、評価する、ということが注目されてきているのです。

英語教材支援システム「基礎英語 LEAD」は、信頼される「基礎英語」のコンテンツに CAN-DO 的な発想で、「言葉を使ってできること」を検索できる「機能タグ検索」があります。

これを先生方のお使いの CAN-DO と組み合わせることで、CAN-DO を具体化するすばらしいタスク開発ツールとなるにちがいありません。

是非活用してみてください！